

レンビマ®カプセル について

レンビマ®カプセル（レンバチニブメシル酸塩）

商品名：レンビマ®カプセル

成分名：レンバチニブメシル酸塩（Lenvatinib Mesilate）



□ レンビマ®の内服開始にあたって

レンビマ®は、抗がん剤です。

今後治療を継続していく上で、この薬で発現しやすい副作用を理解しておくことは非常に大切なことです。

薬の事をよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

□ がん細胞に対するレンビマ®のはたらき

がん細胞は、細胞の増殖を促す信号（がん細胞よ増えろ、という信号）が過剰に伝達されることで、異常に増殖します。また、がん細胞が増殖し続けるためには血管から酸素や栄養素を取り込む必要があります、がん細胞は周囲に新たな血管を作ろうとします。

レンビマ®はその信号の伝達を妨げたり、がん細胞にとって重要な血管が作られるのを阻止したりすることで、がん細胞の増殖を抑える薬です。

□ 服用上の注意

- ・毎日大体同じ時刻に内服してください（医師の指示通り）。
- ・レンビマ®の吸収に食事の影響はないことが確認されていますので、飲むのは食前・食後、空腹時、いつでも構いません。ただし、毎日大体同じ時刻に服用するのが良いでしょう。
- ・飲み忘れた場合は、通常の服用時刻から12時間以内であればそのまま服用してください。12時間を超えた場合はその分を服用せず、翌日から通常量を服用してください。

□ 副作用 副作用は恐れるのではなく、理解を深めて、うまくコントロールすることが大切です

比較的発現しやすい副作用

【 **高血圧** 】… 血圧が普段より高くなる、めまいがする

薬を飲んでいくうちに、血圧が高くなることがあります。血圧の上昇は飲みはじめてからすぐに（一週間以内に）起こることもあるので、ご自宅で毎日血圧測定を行いその値を記録しておき、変化があれば診察の際主治医にみせるのが良いでしょう。血圧はできるだけいつも同じ時間帯に測定しましょう。朝に測る場合は起床後1時間以内、食前、排尿後に、夜に測る場合は就寝前にしましょう。

急に血圧が上昇（最高血圧が180mmHg または最低血圧120mmHg以上）し、意識がもうろうとしたり、頭痛、めまい、吐き気などがある場合は、レンビマ®の服用を止めご連絡ください。状態によっては血圧を下げる薬を内服していきます。

【 **下痢** 】

下痢がひどい時は脱水を避けるため、水分を多めに摂りましょう。症状によっては下痢止めを内服します。消化の良いものを少量ずつ食べる、刺激の強い食べ物・飲み物を避けるなど、食事の工夫も有効です。

【 **手足症候群** 】… 手足がはれる、ひび割れする、水ぶくれができる

荷重がかかる部位に発現しやすいので、靴はスニーカーなどを履き、足に負担がかからないようにしましょう。また保湿クリームなどをやさしく塗り、皮膚の乾燥を防ぎましょう。症状が強い場合には塗り薬を塗っていきます。

その他

- ・食欲不振（それに伴う体重減少）、蛋白尿（尿が泡立つ）、疲労、発声障害（甲状腺機能低下による声のかすれ）等

□ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

